

獣害防護柵（硬質ステンレス（WPB）入りネット）設置特記仕様書

令和7年度 河津・松崎地区造林（下刈外）請負事業

1 作設位置

作設位置は、図面及び現地において表示してある箇所とする。詳細な位置については、監督職員の指示を受けるものとし、地形、土壌条件等により設置が困難な場合は、監督職員と協議すること。

2 構造及び使用資材

別紙、獣害防護柵（硬質ステンレス（WPB）入りネット）設置 特記仕様書の柵設標準図及び全量材料表のとおり。

使用資材については、全数量について監督職員の納品確認を受けることとし、設置後余分な資材が生じた場合は、監督職員に引き渡すこととする。

3 作業方法等

- (1) 支柱は地中に 50 cm埋め込み、簡単に抜けたり倒れたりしないようにしっかり固定する。
- (2) 支柱設置間隔は 3.0m間隔を標準とし、地形や勾配に応じて、その間隔を調整することとする。
- (3) 張りロープはφ8mm以上とし、シカ等がかかって暴れても切れない強度を有するものとする。
- (4) 押さえロープはφ6mm以上、裾押さえロープはφ4mm以上とし、設置部分を標準図のとおりアンカーで固定し、シカ等のもぐりこみやネットのめくれを完全に防ぐこと。また、シカ等がかかって暴れても切れない強度を有するものとする。
- (5) ネットは網目7cmの耐候性、耐疲労性、強度に優れたものを使用すること。また標準図のとおり支柱1本につき、3箇所結束する。出入口用の支柱1本につき、5箇所結束する。
- (6) 控え柱用ロープの設置間隔は15mを標準とする。
- (7) カーテン式門扉については、支柱間1.0mを標準とする。
- (8) 柵の出来上がり寸法は、高さ1.8mとする。コーナー部等柵への負荷が大きい箇所等、特に必要とされるところがある場合は、監督職員と協議し、補強用控え柱を設置する。
- (9) 別紙事業地別特記仕様書のとおり、補強用の支柱及び出入口を作設する。

4 その他

- (1) 獣害防護柵設置は、保安林協議終了後に実施すること。
- (2) 設置後、余分な資材が生じた場合には、監督職員へ引き渡すこととする。
- (3) この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示による。

獣害防護柵（硬質ステンレス入り防獣ネット）全量材料表（割増含む）
 （事業地：622ろ1林小班）

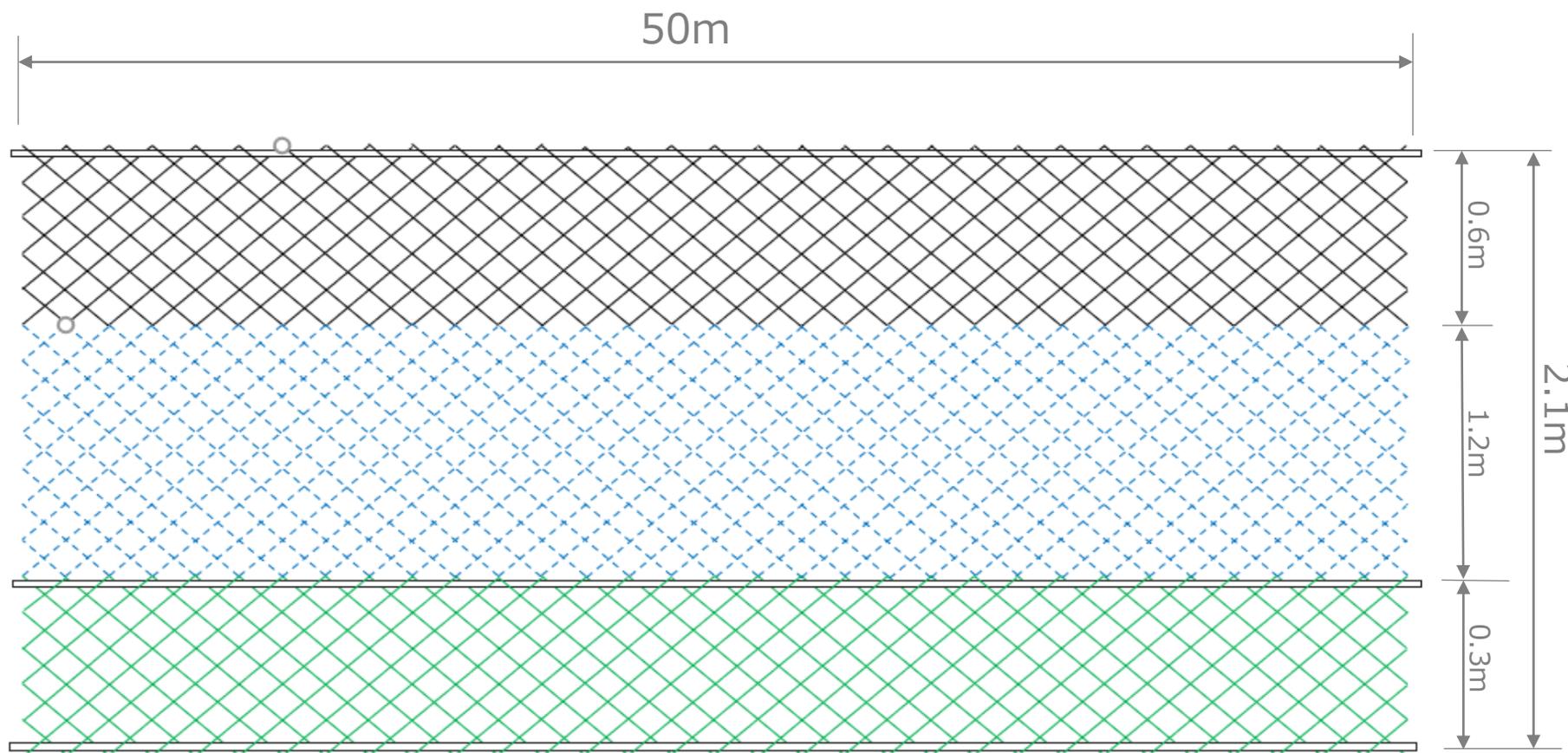
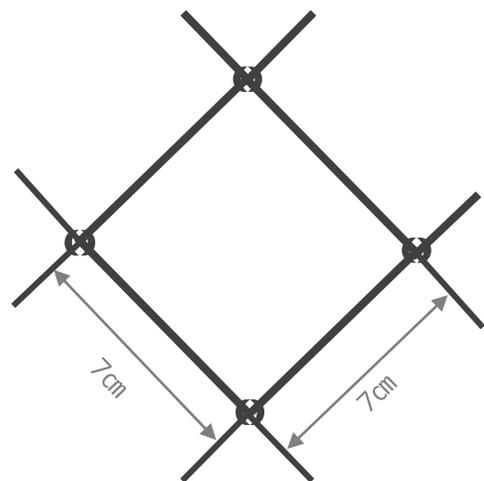
令和7年度 河津・松崎地区造林（下刈外）請負事業

品名	規格	340 mあたり			備考
		数量	単位	総重量(kg)	
ネット ロープ	硬質ステンレス入りネット(1.8m+0.3m)*50m)/7cm目/ (強化部)硬質ステンレス線SUS304(WPB)φ0.26×4本/PE400d×40本/青/ (裾部)ステンレス線SUS304(WPB)φ0.19×4本/PE400d×40本/緑/ 張り用(強力糸)ロープ/φ8mm/55m/ポリエチレン製(ネットに装着) 押さえ用(強力糸)ロープ/φ6mm/55m/ポリエチレン製(ネットに装着) スカート用ロープ/φ4mm/55m/ポリエチレン製(ネットに装着)	8	反	116.00	
支柱	コンポーズパイプ/FRP支柱/ABS被覆/φ38mm*2.4m	120	本	144.00	出入口用(4本)を含む
キャップ	ジョイント式キャップ/φ38mm用/ABS製	116	本	58.00	
控えロープ	ポリエチレンロープ/φ6mm×55m/青	4	本	4.00	15mに1箇所以上
杭	アンカー杭/ABS製/43cm	480	本	38.40	100m中、ネット固定134本/控え7本
留め	ステンレスカット線/#19 0.25m(330本/束)	2	束	1.00	支柱とネットの結束用 出入口用支柱用を含む
小計				361.40	

硬質ステンレス入りポリネット 1.8m+0.3m×50m (7cm目)

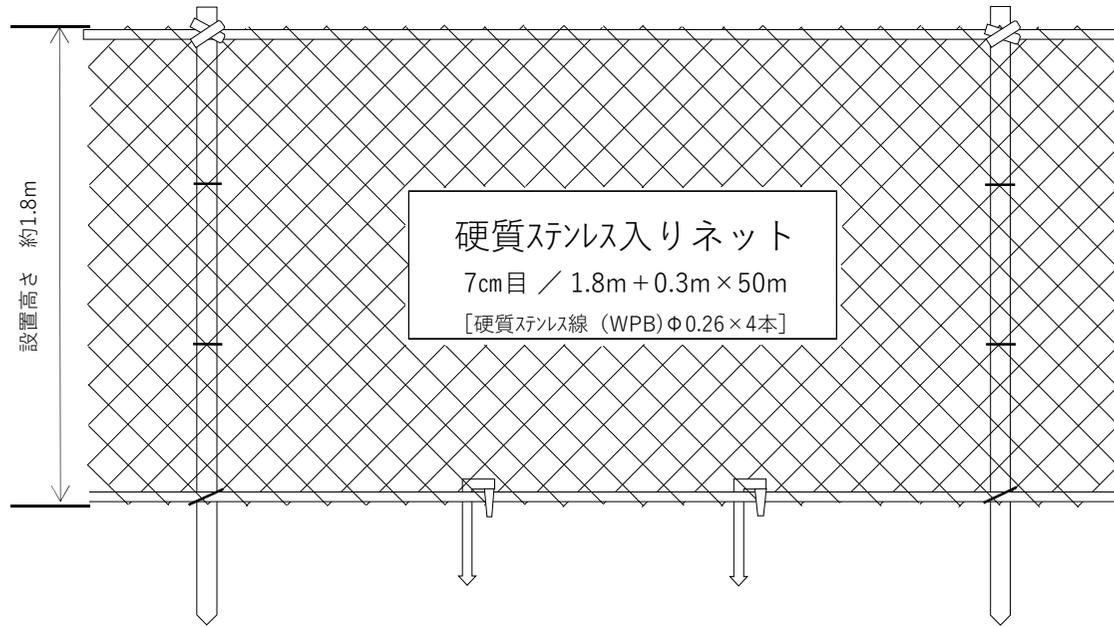
- ◆上部 0.6m ポリエチレン 400d×40本/黒
- ◆強化部 1.2m SUS304 (WPB)Φ0.26×4本/青
- ◆スカート部 0.3m SUS304 (WPB)Φ0.19×4本/緑
- ◆張り・押さえ用ロープ(強化糸入りPE)8mm・6mm×55m
- ◆スカート用ロープ(PE)4mm×55m

14.5kg 二重交差式



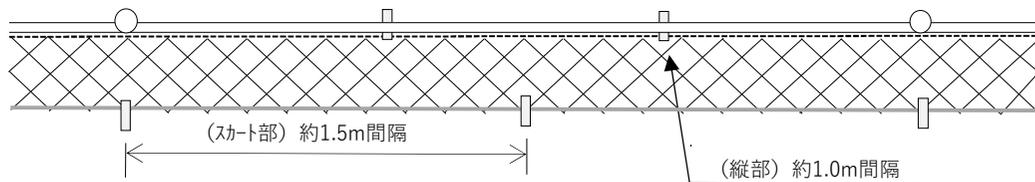
[設置展開図]

正面図



ポール間隔 約3.0m

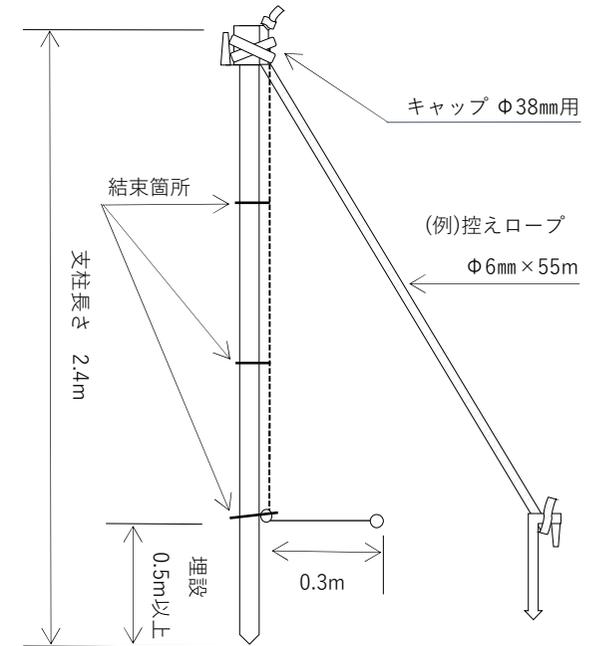
真上図



(スカート部) 約1.5m間隔

(縦部) 約1.0m間隔

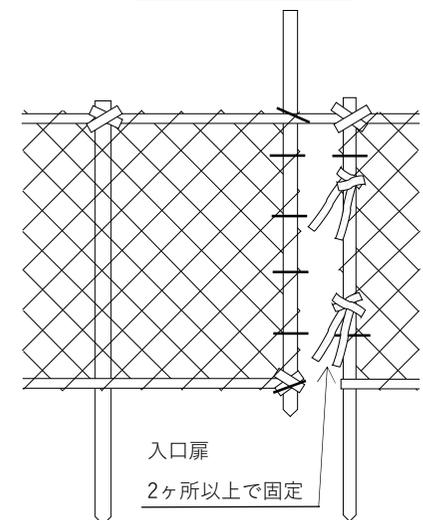
補強部 (例)



※平坦地では約0.6m埋設

※傾斜地では約0.5m埋設

開口部 (例)



入口扉

2ヶ所以上で固定

品名	仕様・規格	製品単体重量	100m当たり
ネット	硬質ステンス線(WPB)入り 1.8m+0.3m×50m (7cm目) / 地際より1.2mまで強化 上0.6m(黒)下1.2m(青)裾0.3m(緑) / WPBΦ0.26×4本・裾WPBΦ0.19×4本 ④YGロープΦ8mm / ⑤YGロープΦ6mm / スカートループΦ4mm / 各55m	14.50kg/反	2.1反
控え用ロープ	PEロープ / Φ6mm×55m / PE製 / 青 (15m間隔で設置・片側もしくは両側)	1.00kg/巻	1巻
支柱	FRP製 / Φ38mm×2.4m / ABS被覆	1.20kg/本	34本
キャップ	ジョイント式キャップ / ABS製 / Φ38mm用	0.05kg/個	34個
杭	アンカー杭 / 43cm / ABS製 (ネット部 67本・スカート部 67本・控え部 7本)	0.08kg/本	141本
結束	ステンレスカット線 / #19×0.25m/本 / 330本束	0.50kg/束	0.31束

忌避剤散布 特記仕様書

令和7年度 河津・松崎地区造林(下刈外)請負事業

1 薬剤の性質

- (1) 農薬の種類 ジラム水和剤
- (2) 有効成分 ジンクジメチルジチオカーバメート
- (3) 効果 ニホンジカによる食害防止
- (4) 安全性
- ア 毒物分類 普通物(劇物・毒物・特定毒物に該当しないもの)
 - イ 魚毒性 C類

2 薬剤の散布内訳

- (1) 希釈倍数 3倍(原液:水=1:2)
- (2) 使用液量 詳細は下表のとおり。

対象 林小班	散布面積 (ha)	1本あたり 散布量 (ml)	散布対象 苗木本数 (本)	1回あたり 散布原液量 (ml)	希釈 倍率 (倍)	1回あたり 希釈後 総散布量 (ml)	散布 回数	忌避剤散布 対象樹種
692ろ4	1.54	14.5	3,300	47,850	3	143,550	2	スギ
692ろ5	0.71	14.5	1,490	21,605	3	64,815	2	スギ
511ち1	0.59	7.5	1,240	9,300	3	27,900	1	スギ
合計	2.84		6,030	78,755		236,265		

植栽木1本あたりの忌避剤散布量は、樹高50cm以下の苗木については原液5ml、50cm~100cm以下の苗木については原液10ml、100cm~150cmの苗木については、原液15mlとする。

3 薬剤の散布

苗木の樹幹や頂芽、葉等、植栽木の食害が予想される部分とする。

4 その他

使用薬剤については、全数量について監督職員の納品確認を受けることとし、設置後余分な資材が生じた場合は、監督職員に引き渡すこととする。